

平成 27 年度事業報告の概要について、次の通り報告致します。

## 平成 27 年度事業報告の概要

### 法人実施項目

#### [1] 機器設備の導入について

平成 28 年 4 月より開始する、ホテルリネンサプライ事業に向けた、新規機器類を選定し、連続式洗濯機、ロールアイロナー機、トンネルフィニッシャー、並びに我が国で 2 台目となるホテルリネンサプライ用仕上げ機器の無人化システムを導入する等、新規事業のスタートに向けた機器整備を行ないました。

#### [2] 働く場の環境整備

立川事業所において、高熱を放出するロールアイロナー機に断熱材を取り付け、放熱対策を実施しました。さらに、ロールアイロナー機からの熱気を外部へ排出するため、室外機 3 台、屋外機 1 台を新たに設置しました。これにより室内の温度は、昨年度に比べ平均で約 5 度下がり、作業場環境の改善を図りました。

また、重度障害者の利用者の作業場改善として、避難通路やトイレ等に配慮した位置に簡易作業場を移動し、また、集団の中で作業することが困難な自閉症の利用者に対し、パーテーションで区切りを設ける等、個々が安心して作業を行なえる環境を構築しました。

#### [3] 人材育成の強化

職員に対し、個々のキャリアアップを図るため、「新人職員」、「中堅職員」、「幹部役職員」と分け、それぞれのカテゴリーに見合った人材育成研修を計 13 回に亘り実施しました。

平成 28 年度新入職員の採用においては、各種学校への訪問、企業説明会等へ積極的に参加し、計 5 名の新入職員を採用しました。

#### [4] 利用者処遇の向上～同年齢の市民と同等の生活環境の確立～

平成 26 年度に引き続き、利用者の食費負担分(1 人平均 6,160 円/月)を特別手当として支給しました。また、B 型事業工賃の最低賃金の 1/2 の実現については、今年度は 3 事業所のうち、2 事業所が達成しました。

#### [5] 新規事業の開発

新規作業科目として、ホテルリネンサプライ事業、及びあわびの陸上養殖事業に着手しました。ホテルリネンサプライ事業においては、一部上場企業のクリーニング業者と業務委託契約を締結し、次年度の事業化に向けた準備を実施しました。また、あわびの陸上養殖事業においては、1 月に国産、海外産合わせて 2,000 個を超えるあわびを仕入れ、日の出事業所にて研究を開始しました。平成 28 年 6 月竣工の、日の出事業所 2 号館に新規事業開発室を設置し、事業として軌道に乗せるべく研究を継続して進めていきます。

#### [6] 報酬に頼らない経営体制の構築

事業計画では法人収入に占める事業収入の比率を 73%、11 億円を目標に計画していましたが、結果 10 億 8,000 万円となりました。前年対比では 104%でしたが、予算達成には至らず、最終的に事業収入の比率は 70%となりました。

#### [7] 巨大地震等災害対策

火気使用場所(ボイラー室、厨房、リネン用大型機械回り等)に対しては、8 月に立川事業所 22 本、日の出事業所 55 本の消火器を新たに購入し設置数を倍増、火事等災害対策の備えを強化しました。

※なお、平成 27 年度事業報告書は事業所多目的室にて自由に閲覧ができます。

財産目録

平成28年3月31日現在

【資産の部】 (単位:円)

科目	金額
基本財産	1,463,074,017
流動資産	988,438,660
有形固定資産	753,064,591
その他固定資産	252,811,643
資産合計	3,457,388,911

【負債の部】

科目	金額
流動負債	203,004,003
固定負債	19,501,898
負債合計	222,505,901
正味資産	3,234,883,010

事業活動計算書

(自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日) (単位:円)

科目	金額
サービス活動収益計	1,540,130,746
サービス活動費用計	1,386,615,874
サービス活動増減差額	153,514,872
サービス活動外収益計	2,690,950
サービス活動外費用計	891,965
サービス活動外増減差額	1,798,985
計上増減差額	155,313,857
特別収益計	862,633
特別費用計	75,480,484
特別増減差額	△ 74,617,851
当期活動増減差額	80,696,006
前期活動増減差額	1,870,628,270
当期末繰越活動増減差額	1,951,324,276
その他の積立金積立額	80,000,000
次期繰越活動増減差額	1,871,324,276

貸借対照表

平成28年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額
流動資産	988,438,660
固定資産	2,468,950,251
うち基本財産	1,463,074,017
うちその他の固定資産	1,005,876,234
資産の部合計	3,457,388,911
流動負債	203,004,003
固定負債	19,501,898
負債の部合計	222,505,901
基本金	335,287,080
国庫補助金等特別積立金	884,271,654
その他の積立金	144,000,000
うち工賃変動積立金	11,000,000
うち設備等整備積立金	133,000,000
次期繰越活動収支差額	1,871,324,276
純資産の部合計	3,234,883,010
負債及び純資産の部合計	3,457,388,911

資金収支計算書

(自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日) (単位:円)

科目	金額
事業活動収入計	1,542,821,696
事業活動支出計	1,321,724,220
事業活動資金収支差額	221,097,476
施設整備等収入計	9,028,519
施設整備等支出計	633,759,612
施設整備等資金収支差額	△ 624,731,093
その他の活動収入計	0
その他の活動支出計	80,000,000
その他の活動資金収支差額	△ 80,000,000
当期資金収支差額合計	△ 483,633,617
前期末支払資金残高	1,299,339,971
当期末支払資金残高	815,706,354

# 監 査 報 告 書

平成28年 5月 20日

社会福祉法人 東京リハビリ協会

理 事 長 緑 川 清 美 殿

監 事 濱 田 洋



監 事 小 林 義 則



我々は、社会福祉法人東京リハビリ協会の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人東京リハビリ協会の財産の状況について監査を実施した。

監査の結果、社会福祉法人東京リハビリ協会の事業報告、決算報告書、決算附属明細書並びに財産目録は適正であった。